

第65回税理士試験

簿・財 『会計人コース』のココが出た!

今年の本試験でも本誌から多数の問題が的中しましたので、一部をご紹介します。本号では特集「第65回税理士試験 出題分析と2016年への対策【簿・財+国税4法】」を、10月号別冊付録では「第65回税理士試験 問題と模範解答」を取り上げています。こちらもぜひご覧ください。

簿記論 [第一問]



【第一問】 一問一答

問1 ども建設に係る工事契約による施工実態の一端の状況について、以下に示される資料を参考にして、日次帳(①)から変動(②)までに記入する金額または勘定科目を答えなさい。

なお、期中における各種工事契約の発生に係る仕訳及びそれを完成工事支用金に振り替える仕訳は省略している。

また、は当該工事契約に係るX3年度の売上総利益の金額を答えなさい。

【資料】

1. 建設会社を営む会社(会計期間: 4月1日～翌年3月31日)は、X1年6月10日に、Z社の建設に係る工事契約を締結した。契約における工事収益総額は、45,000百万円であり、施工費である当該工事契約総額の当初見積額は、30,000百万円である。

2. Z社建設の完成までには2年を要すると予定されている。

3. 実際の工事進捗は、次のとおりであった。

| (単位:百万円) | X1年度 | X2年度 | X3年度 |
|----------|--------|--------|-------|
| 総 務 費 | 2,000 | 5,000 | 500 |
| 常 務 費 | 4,000 | 6,500 | 3,500 |
| 経 費 | 1,000 | 4,500 | 1,000 |
| 合 計 | 12,000 | 16,000 | 4,000 |

なお、X2年度の期首に工事原価総額が、32,000百万円に増加すると見積り直された。

4. X2年7月1日に、工事収金の一部として、10,000百万円が当社の当座預金口座に振り込まれた。

5. X3年6月30日に、Z社が完成し、直ちに引渡しを行った。残りの契約代金は、1ヶ月間の予定日間に引当金となることとなっている。

6. 工事の進捗率は、原価総額を用い、その進捗率に基づいて実際の確実性が認められるものとする。

正誤

問1 工事契約
7月号特集「簿記論 解いておきたい良問ベスト3」金子友裕
6月号付録「論点別 総まとめ問題集」平井孝道 ほか



問2 スtock・オプション
8月号特集「簿・財 ヤマ当て先生に聞く 2015年出題予想」栗原正樹
7月臨時増刊号『でる順予想号』簿記論 吉田智也
7月号付録「計算問題タイムトライアル」並木秀明
5月号連載「基礎から始める簿記論・財務諸表論」並木秀明 ほか

【資料】

1. 当社は会計期間: 4月1日～翌年3月31日、X1年6月20日に行った株主総会において、エリア・マナーギャ社以上の従業員30名に対して、次の条件のストック・オプションを発行することを決議した。

(条件) ・ストック・オプションの期: 従業員1名当たり、2,000個。
・ストック・オプション1個の行使に対して1株の自社の株式が与えられる。
・ストック・オプションの行使の特典払込金額: 1株当たり、8,000円。
・ストック・オプションの権利確定日: X2年6月30日。
・ストック・オプションの行使期限: X3年3月31日まで。
・ストック・オプションを行使に議決することは禁止されている。
・ストック・オプションの権利行使は、行務所に直接行われている場合のみ、行うことができる。

2. X1年7月1日に、上記ストック・オプションを対象者に付与した。

なお、付与日におけるストック・オプションの公正な評価額(価値)は、300円である。

3. 期中進捗率は当初見込まれていなかったが、X2年4月1日に、1名が自己都合による退職した。

4. X3年7月1日に、権利が確定した者のうち、18名が権利行使を行い、権利行使に伴う払込金額全額が、当社の当座預金口座に振り込まれた。権利行使を行った者は、自社の新株を発行した。

なお、払込原本となる金額のうち、2分の1を資本準備金に計上する。

5. X3年7月10日に、権利が確定した者のうち1名が権利行使を行うことなく、自己都合により退職した。

【解答】

財務諸表論



[第一問] 引当金関連
8月号特集「専門学校5校の直前予想をイッキ見」
7月臨時増刊号『でる順予想号』財務諸表論
4月号連載「基礎から始める簿記論・財務諸表論 理論編」小林秀行
3月号付録「持ち歩き財表理論」長島正浩
11月号連載「ワンランク上の簿記論・財務諸表論」香取智宜 ほか

【第一問】 一問一答

引当金の計算等が以下のとおりとなる。

1. 次の表「貸借対照表(貸借対当表)」の数字は、すべて百万円である。中間(①)中の()にこの数字を記載する際、貸借対当表の貸借対当表の数字はそのまま記入し、中間(①)中の数字は貸借対当表に記入しない。

① 貸借対当表(貸借対当表)

| 借 方 | 貸 方 |
|-----------|-----------|
| ① 現金 | ① 現金 |
| ② 貸倒損失 | ② 貸倒損失 |
| ③ 貸倒引当金 | ③ 貸倒引当金 |
| ④ 貸倒引当金繰入 | ④ 貸倒引当金繰入 |
| ⑤ 貸倒引当金繰上 | ⑤ 貸倒引当金繰上 |
| ⑥ 貸倒引当金繰下 | ⑥ 貸倒引当金繰下 |
| ⑦ 貸倒引当金繰上 | ⑦ 貸倒引当金繰上 |
| ⑧ 貸倒引当金繰下 | ⑧ 貸倒引当金繰下 |
| ⑨ 貸倒引当金繰上 | ⑨ 貸倒引当金繰上 |
| ⑩ 貸倒引当金繰下 | ⑩ 貸倒引当金繰下 |
| ⑪ 貸倒引当金繰上 | ⑪ 貸倒引当金繰上 |
| ⑫ 貸倒引当金繰下 | ⑫ 貸倒引当金繰下 |
| ⑬ 貸倒引当金繰上 | ⑬ 貸倒引当金繰上 |
| ⑭ 貸倒引当金繰下 | ⑭ 貸倒引当金繰下 |
| ⑮ 貸倒引当金繰上 | ⑮ 貸倒引当金繰上 |
| ⑯ 貸倒引当金繰下 | ⑯ 貸倒引当金繰下 |
| ⑰ 貸倒引当金繰上 | ⑰ 貸倒引当金繰上 |
| ⑱ 貸倒引当金繰下 | ⑱ 貸倒引当金繰下 |
| ⑲ 貸倒引当金繰上 | ⑲ 貸倒引当金繰上 |
| ⑳ 貸倒引当金繰下 | ⑳ 貸倒引当金繰下 |

2. 次の表「貸借対当表(貸借対当表)」の数字は、すべて百万円である。中間(①)中の()にこの数字を記載する際、貸借対当表の貸借対当表の数字はそのまま記入し、中間(①)中の数字は貸借対当表に記入しない。

① 貸借対当表(貸借対当表)

| 借 方 | 貸 方 |
|-----------|-----------|
| ① 現金 | ① 現金 |
| ② 貸倒損失 | ② 貸倒損失 |
| ③ 貸倒引当金 | ③ 貸倒引当金 |
| ④ 貸倒引当金繰入 | ④ 貸倒引当金繰入 |
| ⑤ 貸倒引当金繰上 | ⑤ 貸倒引当金繰上 |
| ⑥ 貸倒引当金繰下 | ⑥ 貸倒引当金繰下 |
| ⑦ 貸倒引当金繰上 | ⑦ 貸倒引当金繰上 |
| ⑧ 貸倒引当金繰下 | ⑧ 貸倒引当金繰下 |
| ⑨ 貸倒引当金繰上 | ⑨ 貸倒引当金繰上 |
| ⑩ 貸倒引当金繰下 | ⑩ 貸倒引当金繰下 |
| ⑪ 貸倒引当金繰上 | ⑪ 貸倒引当金繰上 |
| ⑫ 貸倒引当金繰下 | ⑫ 貸倒引当金繰下 |
| ⑬ 貸倒引当金繰上 | ⑬ 貸倒引当金繰上 |
| ⑭ 貸倒引当金繰下 | ⑭ 貸倒引当金繰下 |
| ⑮ 貸倒引当金繰上 | ⑮ 貸倒引当金繰上 |
| ⑯ 貸倒引当金繰下 | ⑯ 貸倒引当金繰下 |
| ⑰ 貸倒引当金繰上 | ⑰ 貸倒引当金繰上 |
| ⑱ 貸倒引当金繰下 | ⑱ 貸倒引当金繰下 |

簿・財 [第二問]や [第三問] 総合問題、各税法の的中・類似箇所なども随時ご紹介していきます。『会計人コース』を毎月しっかりと解いていけば簿・財の独学合格は可能です！ぜひ2016年の本試験合格を目指して一緒にがんばっていきましょう。